



ミニかわら版

〒124-0012

東京都葛飾区立石 1-12-11 ヤマダビル

(この資料は全部お読みいただいても60秒です)

TEL : 03-3694-6091 FAX : 03-3691-6680

全国社長の平均年齢は59.5歳、過去最高を更新

「平成29年版高齢社会白書」（内閣府）によると、65歳以上の高齢者人口は3459万人に達し、総人口の27.3%を占めています。企業においても経営者の年齢は上昇傾向で推移し、円滑な事業承継が企業の持続的繁栄のカギとなっています。帝国データバンクが発表した「全国社長年齢分析調査」結果によると、2018年1月時点の全国の社長の平均年齢は59.5歳（前年比+0.2歳）となり、過去最高を更新しました。

社長の平均年齢を業種別にみると、「不動産業」が61.5歳で最も高く、他業種と比べ70代（21.4%）と80歳以上（7.6%）の社長の割合が高くなっています。一方、他業種と比べ30歳未満と30代の割合が高い「サービス業」が58.1歳と社長の平均年齢は最も低くなりました。

また、上場企業の社長平均年齢（全国平均58.9歳（前年比▲0.1歳））では、「建設業」が61.7歳で最も高く、7業種のなかで唯一30歳未満の企業がある「サービス業」が55.1歳と最も低くなっています。

さらに業種細分類別にみると、最高は「貸事務所業」（65.47歳）で、そのほか上位には「土地賃貸」（65.34歳）などの不動産業、「ゴルフ場」（64.97歳）、「駐車場業」（64.38歳）、「写真DPE業」（64.22歳）などがあります。一方、平均年齢の最低は、「児童福祉事業」（46.41歳）で、「貸事務所業」との差は19歳開いています。

平均年齢を年商規模別にみると、「1000億円以上」（60.8歳）が最も高く、「1億円未満」（60.5歳）がこれに続き、ともに60歳を超えています。年代別の分布をみると、「1000億円以上」の6割弱（57.5%）が60代となり、70代・80歳以上の「1億円未満」の割合は各19.3%、4.9%とほかの年商規模と比べて高くなっています。この結果から、小規模企業では事業承継がスムーズに進んでいないことが示唆されています。

都道府県別にみると、最も平均年齢が高かったのは「岩手県」（61.6歳）で、全国平均を2歳以上上回り、このほか、「秋田県」（61.4歳）、「青森県」（61.0歳）など東北地方が上位を占めています。1990年の平均年齢と比較すると、「秋田県」（+7.6歳）、「沖縄県」（+7.3歳）が上昇しています。一方で、平均年齢が最も低かったのは「三重県」（58.3歳）で全国平均を1.2歳下回っています。

*詳細はこちらでご確認いただけます。「全国社長年齢分析（2018年）について（株帝国データバンク）」

<https://www.tdb.co.jp/report/watching/press/pdf/p180106.pdf>